「小売電力の自由化、その後の電力業界～
電力高騰と低炭素化のインパクト」(概要)

1.　電力価格高騰の引き金

電力自由化に向け 2015 年から政府主導で①広域系統運用、②小売自由化、③送配電分離の 3 段階で進んでいます。目的は「電力安定供給確保」、「電気料金上昇抑制」、「需要家の選択肢拡大と事業者ビジネス機会の創出」。しかし、1 月に価格高騰大問題が発生。いずれも充たさぬ欠陥が発覚、これについて解説します。

2.　高騰インパクト

旧一般電力と新電力間格差高騰を受け、最大手 F-Power が負債 464 億円にて会社更生に至りました。新電力の経営リスクを旧一般電力との格差から論じます。

3.　低炭素化社会への布石の欠如

改革は、低炭素化社会に向け、根本的な課題を解決できません。ここで石炭火力の問題を取り上げ、皆様と議論できれば幸いです。

---